

レジメン名称(オニバイド+5-FU/LV q2w)

膀胱癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日	
		1 コース 2 週間	
		Day 1	2 3 …… 8 …… 15
オニバイド	70 mg/m ²	↓	
レボホリナート	200 mg/m ²	↓	
フルオロウラシル	2400 mg/m ²	↓ 1 日目から 46 時間持続投与	

レジメンオーダー以外に必要な処方

Day2, 3 : 内服 デカドロン (デキサメタゾン) 4~8mg 1×朝食後 2 日分

注意事項

オニバイド: *UGT1A**6ホモ、*28ホモ、ダブルヘテロの場合、オニバイド 50mg/m²での開始を考慮してください
(適正使用ガイドより)

保存する場合は、遮光し、室温保存時は 6 時間以内、2-8°Cで保存時は 24 時間以内に使用すること
インフュージョンリアクション (気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど) に注意。

オニバイド: フィルター付きラインは使用しないこと

投与方法: 1 日目~	
1	生食 100mL フィルター付きラインは使用しないこと 。ケモセーフロックの点滴セット (フィルターなし) を使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たす
2	パロノセトロン(0.75mg/5mL) 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A、生食 100 mL 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
3	オニバイド _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL 90 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後: BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後: 全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
4	レボホリナート _____ mg, 生食 500mL 120 分かけて点滴、メインルートから投与
5	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄
6	フルオロウラシル _____ mg, 生食、 全量 210mL 5 mL/時、46 時間かけて、ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与